

えんちょう先生の わくわくだより

令和3年11・2 年長号

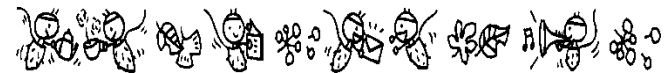


ゆーらりゆらり ゆりの木
かーしげかしげ かしの木
もーんでもんで もみの木
つーぼんでつぼんで つばきの木
ひーらいてひーらいてひいらぎ
ちくちくちくちく まつの木
くるんでくるんでクルミの木
♪ ほうの木でほうりだせ



11/1（月） 楽しかった！いっぱい覚えた！

二回目の木育教室は園の遊戯室で、行って頂きました。前回の中の島で遊んでもらったエーナ木育クラブの方たちが来て下さると、こども達は「なおさんだ！」「たかじい！」と覚えていて声を掛ける子もいて、和気あいあいの中、二人組での木の名前がいくつも入った歌遊びから始まりました。直さんの友達の安藤あつこさんが書かれた絵本「ドングリの木とこうちゃん」を読んで貰い、こうちゃんの大好きなドングリの木が切られる事は悲しいけど、木は切られても人の為になる事が嬉しいんだとわかったね。山木さんに①木にはそれぞれ名前がある事②葉っぱの落ちる木や落ちない木がある事③水と太陽と空気が木の栄養である事や葉は自分で栄養を作るんだと教えて貰いました。紅葉した沢山の葉を自分で選んで、貼り合わせていく遊びも楽しかったね。大きな風呂敷にまかれた色とりどりの葉を見て「なんか、森にいるみたいだ！」なんて声も聞こえて来たよ。「♪ドングリコロちゃん、頭はとんがって、お尻はぺったんこ ドンぐりからくりシャー♪」の歌に合わせて直さんのドングリが右手か左手か？を当てるゲームも3回楽しみ、当たると大喜びのみんなだったね。たかじいから木を横に切った場合、縦に切った場合を見せて貰ったり、植えてから1年毎に年輪が増えていく事も教えて貰った後、さあ！一人ずつ輪切りにした木切れの表面をサンドペーパーでつるつるになる迄こするお仕事の始まりです。こすりながら「この木何才だろう？」「たのしい〜」「もうつるつるになった！」の声があちこちで。水性ペンで好きな絵を書いて焼きペンで今日の日付けを入れて貰うと完成です。一つ完成させた後は、木育クラブの方がつるつるに磨いて穴をあけて来て下さった丸い小さい木でペンダント作り。「表には自分の好きな絵、裏にはお家の人にも書いて貰ってね。」と声を掛けて貰い、みんなは集中して小さなペンダントに絵を書き、ひもを通してもらい素敵なペンダントが完成しました。今日は、木や葉、木から作った遊び道具、スプーンやおたまもあったね。木は自分たちの身近にあり、その木から作られるものは数々あり、みんなの生活の中でも、随分使われていたり、役に立っているのだと勉強をしました。遊びながら、木や自然に興味関心を広げて下さる言葉や知識の数々に感心。こうした遊びは、どの子もみんな好きで、やる気になって取り組めるから不思議です。自然物に触れる心地よさと、それに丁寧にかかわって下さる人達の中で、やる気がどんどん出るのでしょうか。盛りだくさんの、木の勉強が楽しく出来た半日でした。



自分の好きな
形を選んでね



サンドペーパーで表面をこ
しごと力を入れてこすり
ます。つるつるになったら、
自分の好きな絵を書こう！



おぐさんとなり君は焼き
ペンで日付け入れに集中。



見て頂けましたか？こども達のペンダント！

「お家でお母さんがコーヒーのコースターにしたよ」「お母さんに絵を書いてもらったよ」と教えてくれたり「木には年齢があるよ」と話をした子もいたようです。お家での協力ありがとうございます。



「木は色々な物ができるよ。」と開いた手提げの中からは、面白い木のおもちゃがいっぱい出て来たね。コロコロ転がるおもちゃやおっぱいみたいなたつたの丸いおもちゃも。木の臭いも嗅いで見たね